

洋書輸入協会会報

NO.

1

昭和42年5月

発 刊 の 辞

理 事 長 司 忠

本会は正式には昭和16年3月3日海外出版物輸入同業会として19社を以て結成されたものであるが、事実は以前から業者の連絡会としてあった洋書輸入懇話会がその前身をなすものと云えよう。満洲事変の勃発を契機として続いて昭和12年7月に日華事変が起るに及んで為替の許可制が採用され洋書の輸入も統制されることとなった。昭和15年12月には内閣情報局が設置され図書の出版、販売の監督官庁となるや同時に洋書の輸入もその管轄下に置かれ洋書輸入審議会が創設された。これは陸・海軍、文部、大蔵、外務各省の関係官によって構成されたが、その目的は為替制限のため不要、不急の図書の輸入を統制すると同時に時局に即応するものを入れると云うことであったので当然餅屋である業者の参加が必要となり代表の出席が要請された。そこで前記の懇話会が公けに母体となって、その代表として丸善が参画したものである。その後独ソ開戦によるシベリア便のストップ、英国・蘭印等の日本資産の凍結、米国の対日禁輸等より昭和16年12月8日の大東亜戦争突入まで会として幾多の苦難を重ねて遂に全面的輸入ストップに至った。従って同業会もその活動を停止せざるを得なくなった。

昭和20年終戦となって9月進駐軍の統制下に日本が置かれるや G. H. Q. に民間情報局が出来、漸く民間に洋書の涸渴が訴えられ、丸善初め数業者が洋書輸入の許可を得るため長期に亘って総ゆる手段を尽した結果遂にその可能性が出て来たので昭和21年7月海外出版物輸入協会（当時9社）として再開することとなった。その後協会は洋書輸入の速進に絶えざる努力を払って昭和24年8月にエロア基金による第1回の米国書が入るまで実に3年余を要した。自来英国、フランスと続いて輸入される様になったが当時の理事が尽した努力は大いに銘記すべきものがあるので会報の創刊に当って特に記して会員各位の記憶にとどめて貰うよう期待した次第である。

現在会員数61社と協会も大家族となったが従前は対官庁との交渉に主たる精力を傾けざるを得なかったが、自動承認制の実施を得てよりその目標は業者間の協力体制を整えることに主眼が置かれつつあるものと思う。今や資本の自由化の波が当業界にも押し寄せている際一層その強化が必要となった。斯る際その業務の専従者を置き執行する事務所を置き、更に会員間を繋ぐコミュニケーションとして会報が発行されることになったことは誠に慶賀に堪えない。

委 員 会 の 発 足

4月14日の懇談会にてお話し申し上げました委員会の件、先日の理事会に於て次の通り推せん、各員のご諒承を得て発足いたしました。JBIA. No.6にてご案内いたしました際は渉外・PR委員が未定でしたが今回次の通り受諾を得て決定いたしました。また、機関誌委員会は会報委員会と名称が変更になりました。

洋 書 輸 入 協 会 委 員 会

	委 員 長	副 委 員 長	委 員	
総 務	丸 善	紀 伊 国 屋	福 本 書 院 内 外 交 易	医 学 書 院 旭 屋 書 店
渉 外 ・ P R	ユー・エス エシアテック カンパニー	国 際 書 房	エンデルレ書店 竹 内 書 店	日本出版貿易 タトル商会
会 報	紀 伊 国 屋	丸 善	極 東 書 店 メクレンブルグ 商会	教 文 館 三 省 堂
雑 誌 欠 号	海外出版貿易	三洋出版貿易	南 江 堂 オリエンタル ブック・サービス	日本出版貿易 緑 書 房
洋 書 交 換	国 際 書 房	海外出版貿易	原 書 店 北 沢 本 店	関 東 書 籍
経 営 研 究	東 光 堂	ユー・エス エシアテック カンパニー	オ リ オ ン	洋 販
文 化 厚 生	洋 販	三洋出版貿易	中 央 洋 書 ゲ ー テ 書 房 ム ー ア 社	第 三 書 房 白 水 社 緑 書 房

※ 雑誌欠号と誤配問題

懇談会に於て種々活発なご意見が出ました雑誌欠号と誤配問題につきましては、理事会に於て審議の結果今回発足いたしました雑誌欠号委員会に移管、当局に申し入れ、更に懇談会を開催する等具体策を進めることにいたしましたので、本件につき効果的なご意見などございましたら委員長までご連絡願います。何れ詳細決定次第改めてご案内申し上げます。

文化厚生委員会報告

今回洋書輸入協会は会の運用をよりよくするため、新しく事務所をもち、専従職員を採用することとなり会費を大幅に上げた。お金をたくさんだせば、その見返えりが大きいことを期待するのは人情としても当然であるし、投下資本を大にすれば利潤も大とすべきは資本主義の原則である。そこで、理事全員も大いにハッスルして理事会オンリーという寡頭政治から委員会システムという民主的方法に運用方針を拡大強化した。即ち会員は必ず一つの委員会構成メンバーとなり、おのおのから責任をもって会の運営にあたるわけである。そこで種々の委員会ができたが、私は文化厚生委員会をお手伝いすることとなった。あんまりキザなセリフばかりいうとどこかの知事さんの専売特許を侵すみたいなもので以下ビジネスライクに書く。

1. 委員会の構成メンバーは下記の通りである。

- ① 日本洋書販売配給株式会社
- ② 三洋出版貿易株式会社
- ③ 中央洋書株式会社
- ④ 第三書房
- ⑤ ゲーテ書房
- ⑥ 白水社
- ⑦ ドナルドムアー社
- ⑧ 緑書房

(関西側として丹羽さんをお願いしたいが、関西側で決めて御通知して頂きたい。)

2. 第一回会合を2月3日(月)国際文化会館で行なった。私の連絡不行届で白水社の本田さん欠席(申訳なし)、その他全員出席、意見を交換した。結論は下記の通り。

「文化厚生委員会は、あくまで会員相互の親睦を主とするもので、どういうことをすれば皆が喜ぶかに重点をおくこと。但し現状に於ては輸入協会の財政面が確立されていないので、輸

入協会から予算をとるのは当分の間遠慮をし独立採算制によって運営すること」

3. 委員会の事業

① 囲碁同好会(既に成立、実行しています)

- (イ) 月日 毎月第2、第4金曜日6時半
- (ロ) 場所 日本出版貿易株式会社内
- (ハ) 会費 月500円
- (ニ) 先生 日本棋院石毛七段(第4金曜日に指導碁)

② 旅行、忘年会、新年会の計画

③ 財政面が確立され講師に謝礼が出来るようになったら、会員の常識を高めるため講演を依頼する。候補者として下記の人々があがった。

外務省情報文化局長 新関欽哉氏
(世界情勢について)

日本銀行調査局長 吉野俊彦氏
(日本経済について)

評論家 小汀利得氏

④ 其他企画として討議された事項は下記の通りである。

- (イ) つり大会
- (ロ) 野球大会
- (ハ) 運動会
- (ニ) ダンス・パーティー
- (ホ) 必要品を安くまとめて買ってわけること
- (ヘ) 観劇会
- (ト) 海外旅行

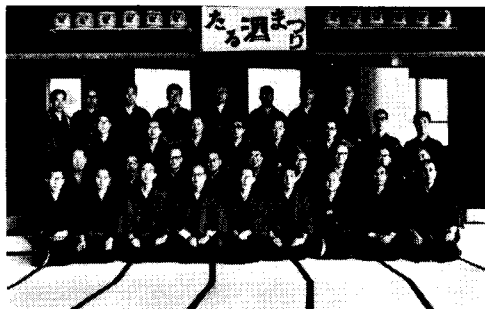
何れにしても本委員会は第3次産業なので、つましやかにスタートしたわけである。基幹産業各委員会の活躍をまっている。

洋販 渡辺 正 広

NEWS欄

■ 新年会

1月12日西熱海ホテルに於て新年会開催、出席25社33名。13日午前9時散会。



(丸善 田辺氏撮影)

■ Pergamon Press 社長来日

Pergamon Press 社長 Robert Maxwell 氏 1月15日来日、18日まで滞在。17日協会主催にて会員27名出席のもとに懇談会開催。

■ 懇談会

4月14日日本出版クラブに於て懇談会開催。Eastern Book Service 社の Robin de Clive-Lowe 氏より同社の業務内容ならびに今後の方針についての説明、丸善中田部長より生協問題についての詳細説明あり。またこのたび協会を去られることになった丸善の田辺氏に次の感謝状ならびに記念品を贈呈し、今後協会顧問として残っていただくことの報告と共に各員のご承認を得ました。昭和21年以来の協会へのご尽力に対し会員一同の心からなる御礼の気持を表明いたしたいと存じます。

感謝状
田 辺 寛 殿

君ハ昭和二十一年七月以来
当協会ノ会務処理ノ実務ヲ
担当サレマシタガ終始温
厚且ツ公平又熱心デアラ
タタメニヨク全会員の信
頼ト愛情トヲツナギ協会
ノ事業遂行ト発展ニ大イニ
貢献サレマシタ今回突然
協会ヲ去ラルルニ当リ惜別
ノ情強キモノガアリマス
君ノ協会ヘノ多年ノ貢献ヲ
顧ミマシテ茲ニ感謝状ヲ贈
リマス

昭和四十二年三月三十日
洋書輸入協会

■ List of Outsiders 配布

先きに List of Outsiders を作製配布いたしました。が、記載洩れ、ご意見、或いは Outsiders に関する新らしい情報などがありましたら事務所宛てお知らせ下さい。

■ 矢沢 静子氏

2月1日より米国 The Collier-Macmillan International の日本代表となり業務を開始されました。午後は外出予定につき連絡はなるべく午前中に願いたい由。

連絡先 東京都港区芝公園
日活アパート 628 号
電話 432—4567

■ 事務所移転通知

5月15日より下記へ移転業務開始いたしましたのでお知らせいたします。

関東書籍株式会社 高 木 公
東京都千代田区神田小川町3—22
東京古書会館4階 電話294—2701~4

■ 原稿募集

会員諸氏の原稿をお待ちします。
横書き400字詰原稿用紙で何枚でも結構です。
事務所宛てにお送り願います。

■ NEWS欄 利用

本欄は皆様の欄です。会員諸氏の消息、Sole Agent の通知など掲載ご希望の向きはドシドシお送り願います。

■ 広告欄 利用

広告なども取扱いますからぜひご利用下さい。
会員広告料：1/8頁（7×5cm）2,000円
1/4頁（15×5cm）3,000円

■ 図案募集

協会のマーク、レターヘッドの図案を募集いたします。会員諸氏のグッド・デザインをお待ちいたします。

送り先 国際書房 服部正喬氏

昭和42年5月 第1号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
東京都中央区日本橋通2丁目6番地 丸善株式会社内 電話 272—7211